

こども未来部保育課

差出人: こども未来部保育課
送信日時: 2022年5月30日月曜日 15:54
件名: 【依頼】園児の熱中症予防と出欠確認の徹底について
添付ファイル: 熱中症予防のために.pdf; 220530【依頼】園児の熱中症予防と出欠確認の徹底について.docx

教育・保育施設長 様

日頃より、教育・保育施設の運営にご尽力いただき感謝申し上げます。

先週、園児が車内で熱中症により死亡するという痛ましい事故が起きました。
夏に向かい特に車内では気温が上昇し、熱中症が発生しやすくなります。
改めて、数分でも車内に子どもを残さないことを保護者や職員に注意喚起するとともに、
送迎用バス等の運行についても、ご注意くださいますようお願いいたします。

また、園児の出欠の確認等について把握に努め、安全管理を徹底していただきますよう、
お願いいたします。

厚生労働省の熱中症予防・啓発リーフレットを添付しますので、ご活用ください。

よろしくお願いいたします。

* *

新潟市こども未来部 保育課

保育指導グループ

hoiku@city.niigata.lg.jp

951-8550新潟市中央区学校町通1-602-1

TEL 025(226)1215/1216

FAX 025(228)2197

* *

新育第310号
令和4年5月30日

教育・保育施設長 様

新潟市こども未来部保育課
担当 保育指導グループ

園児の熱中症予防と出欠確認の徹底について(依頼)

日頃より、教育・保育施設の運営にご尽力いただき感謝申し上げます。

先週、園児が登園途中の車内で熱中症により死亡するという痛ましい事故が起きました。

夏に向かい特に車内では気温が上昇し、熱中症が発生しやすくなります。数分であっても車内に子どもを残さないことを保護者や職員に注意喚起するとともに、送迎用バスの運行についても、ご注意くださいますようお願いいたします。

また、各施設におかれましては個々の出欠確認を含む園児の心身の状況と置かれている環境の把握に努め、安全管理を徹底していただきますよう、お願いいたします。

新潟市こども未来部保育課

保育指導グループ

hoiku@city.niigata.lg.jp

951-8550 新潟市中央区学校町通 1-602-1

TEL 025(226)1215/1216

FAX 025(228)2197

熱中症予防のために

暑さを避ける

室内では・・・

- ▶ 扇風機やエアコンで温度を調節
- ▶ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ▶ 室温をこまめに確認
- ▶ WBGT値※も参考に

外出時には・・・

- ▶ 日傘や帽子の着用
- ▶ 日陰の利用、こまめな休憩
- ▶ 天気のよい日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- ▶ 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ▶ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WBGT値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数
運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。
環境省のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、観測値と予想値が掲載されています。

こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。



熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
 - 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- 重症になると、
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」をご覧ください。

厚生労働省 熱中症

検索

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる

からだを冷やす

衣服をゆるめ、からだを冷やす

(特に、首の周り、脇の下、足の付け根など)

水分補給

水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

<ご注意>

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

高齢者や子ども、障害者・障害児は、特に注意が必要です

- ・ 熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているため、注意が必要です。
- ・ 子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので、気を配る必要があります。
- ・ のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分補給しましょう。暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください

気温や湿度の高い日には、無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使いましょう。

熱中症についての情報はこちら

▷ 厚生労働省

熱中症関連情報 [施策紹介、熱中症予防リーフレット、熱中症診療ガイドラインなど]

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/

「健康のため水を飲もう」推進運動

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/index.html>

職場における労働衛生対策 [熱中症予防対策]

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/azen/anzeneisei02.html

▷ 環境省

熱中症予防情報 [暑さ指数 (WBGT) 予報、熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレットなど]

<https://www.wbgt.env.go.jp/>

▷ 気象庁

熱中症から身を守るために [気温の予測情報、天気予報など]

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>

異常天候早期警戒情報

https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/?reg_no=0&elem=temp

▷ 消防庁

熱中症情報 [熱中症による救急搬送の状況など]

<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html>